

2010年12月8日

平成22年交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰において

「国土交通大臣表彰」を受賞！

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：坂井信也）は、「交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰」において、「国土交通大臣表彰」を受賞しました。

これは、阪神なんば線の開業に合わせ環境に配慮した車両を導入したことなどが評価されたもので、鉄道関係では関西初の受賞となります。

表彰式は12月8日に国土交通省で行われ、馬淵国土交通大臣から坂井社長に表彰状と盾が手渡されました。



【当社鉄道事業における主な環境への取り組み】

1 電力原単位の削減

- ・ 阪神なんば線開業後の平成21年度において、運転電力原単位が平成20年度比7.5%の削減を達成しました。

※電力原単位：1車両を1km動かすのに必要な電力量

2 施設における環境配慮

- ・ 阪神なんば線の新線部分の鉄道信号機にLEDを用いたり、駅設備にLEDや液晶モニターを採用するなどして省電力化を図っています。
- ・ 阪神なんば線新駅の照明に省エネルギー型の照明器具を採用しています。
- ・ 駅施設の冷暖房の熱源にCO₂排出量の少ない深夜電力を用いる氷蓄熱空調システムを採用しました。

3 車両における環境配慮

- ・ 回生ブレーキ車を順次導入しています。
- ・ 車両部品の省資源化、長寿命化、リサイクル化に努め、使用後の廃棄物の削減に貢献しています。

4 公共交通利用促進

- ・ 阪神なんば線開業により鉄道の利便性が向上し、非常に多くの方々にご利用いただき、輸送人員が大幅に増加しました。